

さきがけ

また東地域における子育て支援センターの建設は現状どうなっているか。

福祉部長 平成二十一年度

に一カ所の民間保育園で施設整備による定員増を図るなど待機児童解消に努める。

東地域の子育て支援センターについては、建設にかかる経費を平成二十一年度当初予算に計上する予定であり、現在事業内容の検討

を行っている。

療育センターの施設整備

問 本市の療育センターでの事業は、障害児の早期からの療育にかかわる重要な役割を果たしており、全国的にも評価されている。障害児に対する取り組みは、今後市として支えていく必要があるが、施設の狭隘化や老朽化に対する市の考え方を示せ。

福祉部長 施設の建てかえ

や移転を含めて早期の検討が必要と考える。



障害児の早期療育の重要性から施設整備が求められます。(療育センター)

公明党

代表質問 松尾 武
個人質問 広岡賀代子

個人質問 江越 正一

市は全力で中小企業支援などの地域経済活性化対策に取り組み 定額給付金による消費の拡大・地域経済の活性化に期待

地域経済活性化対策

問 中小製造業の集積地である本市では、原油や鋼材

など原材料費の高騰が企業の経営を圧迫している。国は緊急保証制度の拡充などの施策を講じているが、本市の地域経済が急速に回復する状況にはない。市長は今後、どのような地域経済活性化対策を行うのか。

市長 二十一年度は市内企業の資金が苦しくなるとともに、財務状況の悪化が懸念されることから、大阪府

融資と連携した本市小規模企業融資制度の充実強化を検討する。また東大阪商工会議所と連携した景気対策事業も検討する。

消費を拡大する 定額給付金

問 今年の世界の金融危機の中で最も厳しい経済状況になると予測されており、定額給付金の必要性は高まっている。今大事なことは

すべての世帯への公平な給付により、家計を元気にするという即効性の期待でき

る施策ではないか。定額給付金に対する見解を示せ。

市長 百年に一度と言われる経済危機の中、GDPを〇・二％程度押し上げる効果が見込まれる定額給付金が、まいど一号記念券の発行と相まって本市の消費の振興、地域経済の活性化における重要なカンフル作用をもたらすと考えている。

学力向上策

問 近年、家庭や地域の教育力が問われる一方で、教師のオーバーワークへの対

応や特別支援のさらなる充実などが指摘されている。教育再生のためには全国学力テストの結果を踏まえ、今後の事業や将来の取り組みについて明らかにするべきではないか。

教育次長 おおさかまなび舎事業など、大阪府の施策の活用、また本市学力向上対策学校支援事業における外部支援員の活用に関して

も大学と連携し、学生支援員の確保だけでなく市内在住の退職教員や教員免許を所有する社会人等の人材活用策にも取り組む。また地域や家庭の協力を得た組織的な支援体制を講じる。

妊産婦健康診査

問 出産は女性にとって人生最大の喜びであるとともに自身の生命をかけた大事業である。新しい生命を自分の中に育んでいる感動とともに、精神的、経済的にも大きな不安を抱える。国の第二次補正予算に含まれている妊産婦健康診の十四回無料化に対し、本市も早期の拡充を実現するよう強く要望する。

健康部長 健診の公費負担については二十年四月より回数増を五回に増やし、三十五歳以上の妊婦の超音波検査を実施し、十一月からは

助産施設の健診にも一部利用できるよう拡充した。現在、国は十四回の公費負担を示しており、本市も拡充実施に向け大阪府を窓口として検討を進めている。

第三子以降の保育料無料化

問 厚生労働省は二十一年度に第一子と第二子がいずれも保育所または幼稚園に通っている世帯の第三子以降の保育料を無料にすることを検討している。現在、該当する子供については既に九割軽減の措置がとられているが、子育て世帯の負担をさらに軽減するために保育料全額を免除するとの事である。本市はどう対応するのか。

福祉部長 国において第三子以降の保育料無料化が決定次第、本市においても速やかに進める。

学校舎施設の耐震化計画

問 学校施設は、災害時には地域住民の避難場所としての役割を果たすことからその安全性は極めて重要である。本市の小・中学校は保有する三百六十九棟のうち、昭和五十六年の新耐震基準以前に建築された学校施設は三百六棟あり耐震化の進捗については、現在進められている屋内運動場等の計画を見込んでも百棟前後に過ぎず、残る多くの学校施設については未計画のままである。学校舎施設の耐震化について、当局の見解を示せ。

教育総務部長 現在、二十二年年度完了を目標に災害時の避難所となる屋内運動場の耐震化を優先して進めている。校舎については、対象校が二百七校と膨大なため、国庫補助率の適用を受ける可能性の高い八十三棟を優先し二十七年年度を目標に耐震化の促進に努める。



生まれてくる新しい「いのち」。安心して出産にのぞむため妊産婦健診の拡充が求められます。(市内私立病院)